

この冬は新型コロナ（COVID-19）+インフルエンザに注意！

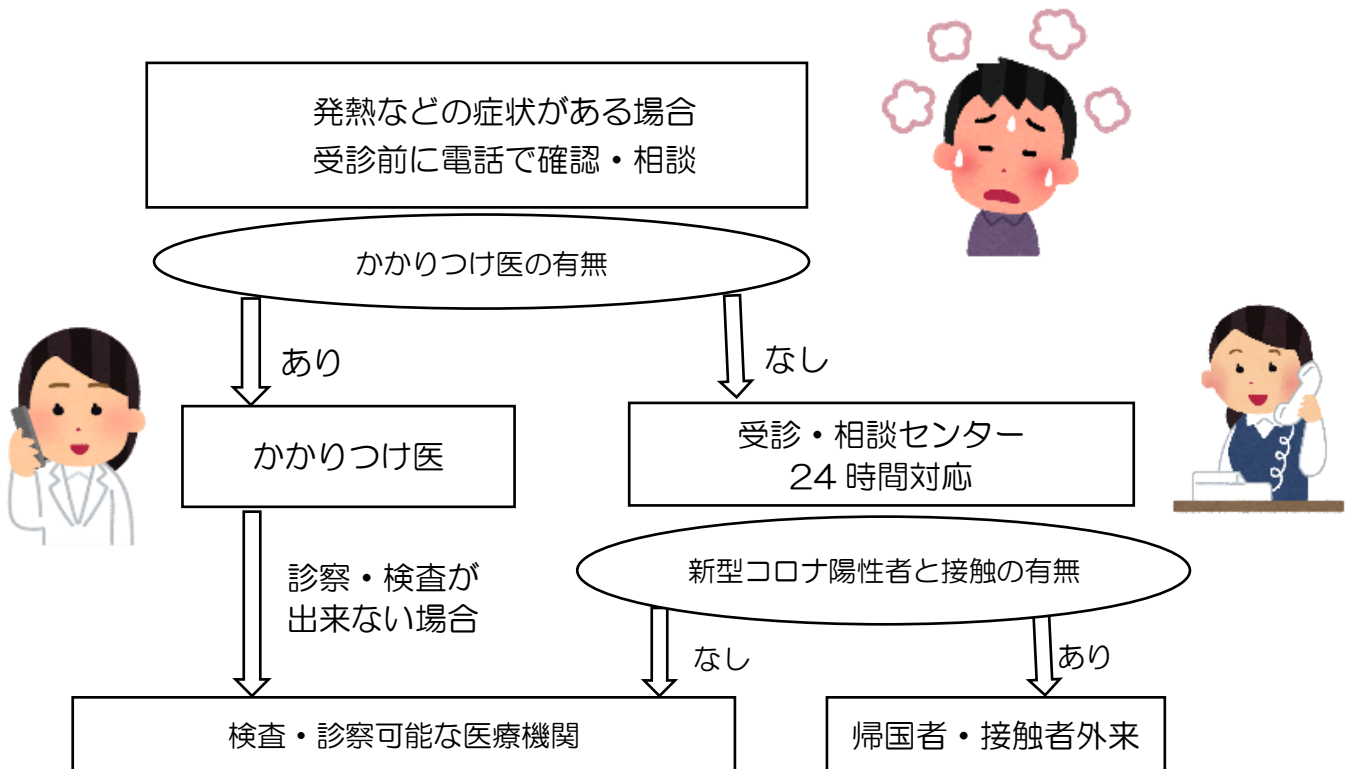
今年の冬は、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時に流行する可能性があると言われていたことから、発熱などの症状がある場合の受診の流れが変更となり、各自治体から発表されています。いざという時に慌てないように、確認をしておきましょう。

インフルエンザと新型コロナウイルス感染症のちがいは？

	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症
潜伏期間	潜伏期間は1～2日	潜伏期間は1～14日
特徴	38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状	発熱、咳、味覚障害・嗅覚障害、呼吸困難、強い倦怠感などで、発症の直前・直後で特にウイルス排出量が高くなるため、症状がなくても感染しやすい

発熱などの症状で受診したいときは？

今年は、新型コロナウイルス感染防止のため、発熱や咳などの呼吸器症状がある場合の医療機関での受け入れが例年と異なります。また、医療機関を受診する際は、感染拡大を防ぐために、あらかじめ電話等で診察可能かどうか確認をしておきましょう。



新型コロナウイルス感染症の検査とは？

現在ウイルスに感染しているかを診断するための検査にはPCR検査、抗原検査があり、症状の有無や発症からの日数により、適切な検査が選択されます。抗体検査は過去にかかったことがあるかを調べるもので、検査の時点で感染しているか調べる目的では使用できない検査となります。検査を実施できる病院が増え、自費での検査も可能となりつつありますが、検査を受ける場合には、検査の目的や特徴を理解しておくことが大切です。

検査の種類	PCR検査	抗原検査	抗体検査
何を調べるか	ウイルスの存在を確認することで、 今現在 新型コロナウイルスに感染症しているかを調べる		抗体の有無を確認し、 過去 に感染したことがあるかを調べる
方法	鼻の粘膜やのどから綿棒で採取	唾液、もしくは鼻の粘膜やのどから綿棒で採取	血液検査
結果が出るまでの時間	数時間	30分程度	早ければ15分程度
保険適応	新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合は保険診療となる。個人の希望で行う場合は自費		保険診療適応外（自費）

感染リスクが高まる「5つの場面」に気を付けましょう！

1. 飲酒を伴う懇親会など
2. 大人数や長時間におよぶ飲食
3. マスクなしでの会話
4. 狭い空間での共同生活
5. 居場所の切り替わり

受診すべきか迷ったら・・・

当組合では急な病気の心配や、仕事・ご家庭の問題からくるストレスなど体や心の健康について悩みがあった場合の専用ダイヤルを設けておりますので、ご活用ください。

0120-921-477

【今後のおろしまち保健室】

令和3年1月21日、令和3年3月18日
2日間とも13:30~17:00 卸町会館3階 第三会議室

仙台卸商健康保険組合：984-0015 宮城県仙台市若林区卸町2-9-5 TEL：022-235-5896
おろしまち保健室（保健師）：hokenshitu@os-kenpo-sendai.jp